

第4回学術講演会のお知らせ

日時：令和8年10月28日(水)午後7時30分

場所：葛飾区歯科医師会館

演題：「デジタル技術を応用したメタルフリー補綴治療」

講師：東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座

教授 関根 秀志先生

抄録

本邦では少子・高齢化が継続し、長寿社会へ移行に伴う8020達成率の上昇・欠損歯数の減少など口腔関連環境が変化し、歯科医療従事者は疾病構造の変化への対応を、日々、求められています。一方、日常生活におけるAI利用などデジタル化が進む中、歯科医療も例外ではなく、安全で確実な医療提供のためのデジタル機器の利用が求められています。補綴歯科治療関連はデジタル応用が比較的進んでいる分野であると考えます。

そのような中でも口腔内スキャナー（Intraoral Scanner：IOS）の利用は、患者のみならず術者のストレスをも大幅な軽減が期待されており、一部、健康保険導入もあり、臨床応用が広がっております。そして何より、IOSも世代を重ね、扱いやすさや応用操作も向上してきております。

同時に、補綴装置に用いられる材料についても開発スピードが速く、日々、次々と新しい製品が紹介されています。特に、金属アレルギーの問題や貴金属系材料の価格高騰の影響などから、メタルフリー歯科診療の頻度が高まってきております。従来から用いられてきた材料と比較した新しい材料の特徴をしっかりと把握し、適切な判断のもとで適用してまいることが求められています。

そこでこの度は、さまざまに変化を続けております社会の状況に対応する補綴歯科治療について考えます。

経歴

1987年 東京歯科大学 卒業

1992年 東京歯科大学 大学院研究科（歯科補綴学専攻） 修了

東京歯科大学 歯科補綴学第三講座（局部義歯学） 助手

1997年 東京歯科大学 歯科補綴学第三講座（局部義歯学） 講師

2003年 米国ワシントン州 ワシントン大学 Visiting Scholar

2004年 東京歯科大学 水道橋病院 口腔インプラント科 科長

2007年 東京歯科大学 口腔健康臨床科学講座

口腔インプラント学分野 准教授

2014年 奥羽大学歯学部 歯科補綴学講座

口腔インプラント学 教授

2020 年 東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座 教授（現在）

所属学会等

日本歯科専門医機構 補綴歯科専門医

日本補綴歯科学会 専門医・指導医

日本口腔インプラント学会 専門医・指導医